



vol.31 学習院大学国際交流センター
Centre for International Exchange
Gakushuin University

海外の5校と新規協定締結

学習院大学では、平成24年度、新たに中国2校、韓国1校、スペイン1校、台湾1校の計5校と協定を結びました。これを機に、本学の国際化がますます進むことを期待しています。

※平成25年度の協定留学プログラムは、新規協定校中、清華大学以外の4校で実施されています(募集は締切しました)。また、その他の海外協定校は、P.2のリストをご覧ください。

■北京外国語大学 (中国) Beijing Foreign Studies University



同大学は、1941年に創立された、中国最高峰の外国語教育機関で、国家教育部直属の重点大学です。名称は外国語大学ですが、言語だけでなく、国際関係や法律に関する学部も設置されています。1950年代に留学生の受入れを始め、現在では、50カ国310以上の機関と協定を締結し、約7,000名の学生のうち、留学生が1,000名程度を占めています。

創立:1941年 所在地:中国 北京市 学生:約6,700人
学部:英語学院、ロシア語学院、翻訳・通訳学院、国際ビジネス学院、中国言語・文学学院、国際関係学院、法学院、アジア・アフリカ学院、欧州言語・文化学院、哲学・社会科学学院、ドイツ語学部、フランス語学部、日本語学部、日本学研究センター、スペイン語・ポルトガル語学部、アラビア語学部等
<http://www.bfsu.edu.cn/>

協定留学生からのメッセージ

冀翔(キ ショー)

(平成24(2012)年9月から1年間、本学政治学科に在籍中)



北京外国語大学からの交換留学生、冀翔です。私は同時通訳官を目指して北京外国語大学に入学しました。北京外国語大学は「外交官の卵を育てる揺りかご」として知られています。50種類以上の語学科目が習得でき、法学部と商学部もあり、中でも語学教育が中国一のレベルを誇っています。課外活動も多彩多様で、私の場合は国際交流協会(SICA)という学生団体に所属していました。主は留学生を巻き込んで旅行、異文化交流祭、カルチャー教室や国際会議の手伝いなど、様々な活動を行っていました。他にダンス部やオーケストラでも留学生の方が活躍されています。また、生活の面でも非常に恵まれた環境だと言えます。北京外国語大学は全寮制であるため、学生食堂と教室までそれぞれ5分間もかからない程度です。さらに体育館は08年オリンピックのために作られた温水プールと海外の番組を見られるジムが揃えられていて、学生なら安く利用できます。私は毎日通っていました。町中にあるキャンパスから最寄りの駅まで徒歩5分程度で、普段のお出掛けもとても便利です。今年9月で帰国してしまっていますが、学習院大学からの留学生を心待ちにしています!

■清華大学 (中国) Tsinghua University



同大学は、北京に所在する、1911年創立の中国最高峰の総合大学です。特に理工系分野で高い評価を受けており、中国の国家指導者に多くの人材を輩出しています。また、国際交流にも力を入れており、世界各国の留学生を受け入れたり、レベルの高い国際学術会議を多く主催しています。

創立:1911年 所在地:中国 北京市 学生:39,470人(2011-2012年)
学部:理学部、工学部、生命科学部、原子科学部、人文社会学部、テクノロジー・マネジメント学部
<http://www.tsinghua.edu.cn>

■東国大学校 (韓国) Dongguk University



同大学校は、ソウルの中心部に位置する、1906年創立の、歴史と定評のある総合大学です。韓国の新聞が毎年発行している大学評価で、2010・

2011年2年連続国際化部門で第5位になるなど、国際交流にも力を入れており、英語のみで開講されている授業も多く、英語での留学も可能です。

創立:1906年 所在地:韓国 ソウル市 学生:約28,000人
学部:法科学部、社会科学部、経営学部、文科学部、師範学部、映像メディア学部、芸術学部、理科バイオシステム学部、工科学部、薬学部、仏教学部
<http://www.dongguk.edu>

平成25(2013)年度第2期派遣学生からのメッセージ

政治学科1年 林由夏

(9月より東国大学校に第1期生として留学予定)



私の韓国語の勉強は、1年前、ハングル文字にほんの少しの興味を持ったところから始まりました。勉強していく中で次第にその興味はふくらみ、文字のみならず、実際に韓国人の方とお話してできるようになりたいと思うようになりました。そのような中で、韓国の文化をもっと知りたい、また、自分の韓国語の能力に磨きをかけるべく、今回、留学することを決意しました。私が留学する東国大学校はソウルにあります。私が韓国旅行に行った際、その大学にも足を運びましたが、とても落ち着いた雰囲気の素敵な大学です。

私は、東国大学へ派遣される第1期生なので不安もたくさんありますが、国際交流センターの方々のサポートにより、充実した留学生活になることを期待しています。

1年間外国で生活することは大変ですが、このような良い機会をめぐらしたものであるわけではありません。韓国についてだけでなく、外国からみた日本についてなど、さまざまなことを貪欲に学びたいです。みなさんも、留学に少しでも興味があるなら、ぜひ一度、留学を考えてみてください!

■アルカラ大学シスネロス校 (スペイン) The Cardenal Cisneros University College, Alcalá University



アルカラ大学は、1499年に創立された、ヨーロッパ最古の大学の一つです。アルカラ大学に10あるカレッジの一つとして位置づけられているシスネロス校は、教育学を中心に、外国語教育等が行われています。キャンパスのあるアルカラ・デ・エナーレス市は、世界で最初の計画的な大学都市であり、1998年、大学と周辺の歴史地区がユネスコの世界遺産にも登録されました。首都マドリードへは、電車またはバスで30分ほどの距離です。

創立:1965年 所在地:スペイン アルカラ・デ・エナーレス市 学生:約900人
学部:幼児教育、初等教育、社会教育、外国人のためのスペイン語コース
<http://www.cardenalcisneros.es/>

■東呉大学 (台湾) Soochow University



本学文学部と、同大学外国語学部及び人文社会学部との間で、2009年に学部間協定が締結されておりましたが、さらに広範囲の交流を実現させるため、大学間での協定の締結に至りました。

同大学は、台北に所在する、台湾では最も古い歴史を持つ私立の総合大学です。特に、外国語学部の日本語文学系は、台湾における日本語と日本語教育の最も重要な拠点となっています。

創立:1900年 所在地:台湾 台北市 学生:約13,000人(学部・大学院)
学部:人文社会学部、外国語文学部、理学部、法学部、商学部
<http://www.scu.edu.tw>

この他に、現在、本学文学部と学部間協定を結んでいる、パリ第七大学(フランス)と大学間協定締結に向けて準備を進めている他、今後も各国との協定締結を予定しています。

【海外協定校 (大学間) リスト (平成25 (2013) 年4月現在)】

地域	協定校名	派遣*
アジア	1 北京大学 (中国)	—
	2 復旦大学 (中国)	○
	3 北京外国語大学 (中国)	○
	4 清華大学 (中国)	—
	5 啓明学校 (韓国)	○
	6 慶北大学校 (韓国)	○
	7 東国大学校 (韓国)	○
	8 東呉大学 (台湾)	○
	9 チュロンコン大学 (タイ)	○
オセアニア	10 オーストラリア国立大学 (オーストラリア)	○
	11 ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア)	○
	12 ウェリントン・ヴィクトリア大学 (ニュージーランド)	○
北米	13 ノースカロライナ州立大学シャーロット校 (アメリカ)	○
	14 ライス大学 (アメリカ)	—
ヨーロッパ	15 クイーンズ大学 (カナダ)	—
	16 ロンドン大学LSE (イギリス)	—
	17 ヨーク大学 (イギリス)	○
	18 サセックス大学 (イギリス)	—
	19 エディンバラ大学 (イギリス)	○
	20 ランカスター大学 (イギリス)	—
	21 レディング大学 (イギリス)	—
	22 イースト・アングリア大学 (イギリス)	—
	23 オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス)	○
	24 マンハイム大学 (ドイツ)	○
	25 パイロイト大学 (ドイツ)	○
	26 パリ第十大学 (フランス)	○
	27 リヨン第二大学 (フランス)	○
	28 国立ナポリ東洋大学 (イタリア)	○
29 ポローニャ大学 (イタリア)	○	
30 アルカラ大学シネロス校 (スペイン)	○	
31 アイスランド大学 (アイスランド)	○	

※平成25 (2013) 年度協定留学プログラム募集対象校



協定留学プログラム派遣学生だより 英語英米文化学科4年 江尻 碧

平成24 (2012) 年度第1期協定留学プログラムで、ニュージーランドに留学をした江尻碧さんに寄稿いただきました。

私は2012年の2月から12月までの約10ヶ月間、ニュージーランドのVictoria University of Wellington (VUW) に留学していました。

留学を決意したきっかけは、アルバイト中に外国のお客様に話しかけられたとき、上手く言葉が出ない自分に愕然としたことです。高校のときから英語が好きで、留学に興味がありました。しかし情けないことに、私は大学に入ってからすっかりぬるま湯の生活に慣れ、これといった目標がなかったのです。そんな私にとってアルバイト中の出来事は、目を覚ます良い機会となりました。

ニュージーランドといえば羊、というイメージが強いかと思いますが、私のいたウェリントンには首都で、街にはたくさんのお店、カフェがあり、サラリーマンや学生が毎日



▲丘の上から見た街の様子

元気に歩いています。初めて買い物に行ったとき地図を広げていると、「大丈夫?道に迷ったの?」と助けを求めずとも向こうから聞いてくれたのが嬉しかったのを覚えています。

VUWはニュージーランドの名門国立大学の一つで、建築・デザイン学部、人文・社会科学学部、法学部、理学部、工学部、教育学部、商学部

などがあります。一つの授業に対し週約3時間のlecture、週1時間のtutorialがあります。Tutorialというのはゼミ形式の少人数授業のことで、lectureで習ったことを復習したり、テーマを決めてディベートをします。これは、私にとって現地の生徒と話すとても貴重な時間でした。驚いたのは、一人一人が自身の考えをしっかりと持っていること、たとえ他の人と意見が異なっても、それを人前で伝えられることでした。VUWには留学生がたくさんいます。違うバックグラウンドを持った人の意見が最初は納得できないことでも、理由を聞いているうちに「そういう考えもあるのか」と感じる事がよくありました。様々な国籍を持つ人に巡り合うことで、色々な価値観・考え方に触れることができ、視野が広がったと感じています。

授業についていくことは、正直予想していたよりずっと大変でした。なかなか教授の英語を聞き取れず最初は不安に襲われました。ニュージーランドでは、「留学生だから授業についていけない」という甘い考えはまったく通用しません。母国語が英語でなくても高成績の生徒はたくさんいます。良い言い方をすれば、全ての生徒に対してフェアな評価が下される大学です。私は対策として、リーディングを徹底しました。前もって知識を付け、「こういうことを言っているのかもしれない」と予想しな



▲日本語を勉強中の友達と (左から2番目が江尻さん)

がら聞くことで、授業内容の理解に努めました。私の住んでいた場所は約300人近くが暮らせる大きな学生寮で、2人のフラットメイトとキッチン、シャワー、トイレを共有します。1学期開始前に何度か寮主催の交流イベントがあり、そこで積極的に話しかけ友達を作りました。笑顔で挨拶・自己紹介をし、相手の話すことに熱心に耳を傾けることで、拙い英語でもちゃんとコミュニケーションを取ることができます。なかなか言い回しが思いつかず止まってしまうと、周りはちゃんと待ってくれたので、安心して発言することができました。

週末は友達とカフェでおしゃべりしたり、港の眺めを楽しんだり、夜はバーでお酒を交わしました。すぐ近くにビーチがあるので、すっかり童心に返り裸足ではしゃぐこともありました。大好きな友達と気兼ねなく、素の自分を出せるようなことは本当に久しぶりで、毎日幸せでした。



▲活気溢れるサンデーマーケット

最後に、留学といえば「外国で勉強なんて大変そう」と思われるでしょうが、当然です。ただ、毎日自発的に勉強し、レポートをしっかりと仕上げ、それ相応の成績が出たときの達成感は言葉で言い表すことのできないものです。色々な国の友達を作る機会に溢れているのも、留学ならではの利点です。せっかく自由な時間のある学生生活、思い切って留学に踏み切ってみてはいかがですか? たくさんのチャンス、素晴らしい出会いがあなたを待っていますよ。

留学生による 母国 (地域) 紹介

学習院大学には、世界17の国や地域から約160名 (平成24年度現在) の留学生が在籍しております。彼らは異国より、はるばる単身で来日し、日々勉強やサークル活動、アルバイトなど、日本人学生と変わらずに頑張っています。その中から代表して、マカオとベトナムからの留学生に、自国の紹介をしていただきました。

マカオ (中華人民共和国マカオ特別行政区)

何展飛 (日本語日本文学科4年)

ポルトガル領だったマカオ

1999年12月に中国に返還されるまでの100年以上の間、マカオはポルトガルの植民地でした。中国に返還されたとはいえ、生活面を含めてマカオでは今も様々な所にポルトガルの面影が残されています。

例えば、中国では流通貨幣として元が流通していますが、マカオでは「パタカ」という独自の通貨があり、漢字で「葡幣 (ポルトガル通貨)」「澳門幣 (マカオ通貨)」と表記されます。隣接地域の貨幣 (中国元・香港ドル) も使えますが、為替レートの差があるため、市内ではパタカでの支払いが一般的です。



▲聖ポール天主堂跡

言語

公用語としてポルトガル語及び中国語 (広東語) の使用が義務付けられており、政府機関の公文書におけるポルトガル語表記はもちろん、街中の道路表示などもポルトガル語と広東語の表記になっています。しかし、昔からポルトガル語は数少ないポルトガル系住民の間でしか通じないし、中国語 (北京語) は主権返還後公用語として加わったものの、日常的に住民の間では広東語のみで北京語の使用がないのが現状です。

カジノ

マカオといえば、やはりカジノのイメージが強く、市内では多くのカジノが運営されていることから、2006年度はラスベガスを抜いて世界一のカジノ都市となり、「東洋のラスベ

▲セナド広場

ガス」とも呼ばれるようになりました。特にこの数年間カジノ産業が盛んであるため、実際に多くの知り合いの就職先がカジノ関係という傾向が強まっています。

世界遺産

マカオは「世界遺産の街」としても有名です。2005年度マカオ市内にある22の歴史的建造物と8つの広場がユネスコの世界文化遺産に登録されました。マカオのシンボルとなっている「聖ポール天主堂跡」をはじめ、マカオ現存最古の中国寺院「媽閣廟」や標高の高い頂上にある「東望洋炮台」などマカオの歴史そのものを反映している建築物が数多くあります。



▲媽閣廟

おわりに

このように、100年以上にわたって続いたポルトガル植民地支配によって、中国文化とポルトガル文化と混ざり合ったマカオならではの雰囲気の色濃く残されており、東洋と西洋の美が融合した素敵な街並みが世界中の観光客を魅了しています。

自己紹介

私は、2006年10月に来日しました。高校時代、J-POPが好きで日本語の勉強を始め、更なる上達を目指し、日本への留学を決めました。最初は片言の日本語しか話せず、留学は楽しいことばかりじゃないと初めて気づきました。しかし、日常生活で日本人の親切さ、優しさや丁寧さに心が癒され、留学生生活を励ましてくれました。2009年に学習院大学に入学後は、アルバイトをしながら勉強をし、いろいろな人と出会う中で、どんどん世界が広がっていきました。

今思えば、未知の土地で生活するのはいろいろ大変なことがありましたが、今までがんばってこられたのは、たくさんの日本の方が支えてくれたおかげだと思えます。本当にお世話になった皆様、ありがとうございました!

★ ベトナム グエンティータンタオ (経営学科1年)

ベトナムのお正月

今年 (2013年) の2月、2年ぶりに帰国しました。あちらこちらお正月の雰囲気を感じていました。今回、一緒にベトナムに同行した経営学科の友達の真実子ちゃんも楽しみにお正月を迎えました。ベトナムは多くのアジアの国と同じ旧暦でお正月を祝い、「テト」と呼びます。お正月は3日間しかありませんが、その1ヶ月前からすでに様々な活動が行われます。例えば、花市場、テト市場、テト菓子市場などがいたるところで開かれます。そこで人々がお正月の飾り物を選んだり、接客用のお菓子を買ったりします。また、伝統的なテトの食べ物のパインツーンを作る人もいます。パインツーンは餅米で出来た皮に緑豆とお肉を入れ、柔らかくなるまで10時間以上煮込むのです。私の家族も毎年パインツーンを作っていました。祖母が亡くなってから作るのをやめて買うことになりました。世代が代わる事で伝統も薄れるという辛い事実の一つの例ではないでしょうか。



▲パインツーン

ベトナムの生活

私の母国ベトナムは日本ととても違います。交通機関といえば、バイクがメインで、次にタクシーとバスです。バイクと自転車は二人乗りは構いません。二人の子供のいる家族ならば、普通に四人乗りもしてしまいます。

ベトナムの家は、家の外と中を区切る大きなシャッターがあり、出掛ける時と寝る時以外は開けたまま生活しています。シャッターを開ければ、リビングのようにソファがあたりテレビが置いてあったり、お客さんが来たらそのままそこでお話ししたりします。そして、家の前で商売をやる人が多いのでそこが商品の置き場になることもあります。特に最近増えた商売は、ミシンを使っ



▲飲食店の様子

て10時まで、昼食を出すお店ならそれ以降まで開いています。なぜそんなに早く開店するのかというと、朝食は外で食べるのが普通だからです。朝5時に起きて、昼食用の食材などをかうために市場に行き、それから朝食を食べに行きます。昼食は家で家族と一緒に食べるのが一般的です。ベトナムの小学校・中学校・高校では昼食は出ないので、家で食べます。大学生になると、家ではなく各自で食べるようになります。そして夕食はまた外で食べます。夜は若い人がお店の前で小さなテーブルを囲んで楽しんでいるのがよく見られます。そういった理由で、このような家の前で個人が経営している飲食店は安くて、たくさん存在します。こういうお店で、ベトナムの食べ物はもちろん、人々の日常の様子やふれあいが見られます。有名な観光場所も素晴らしいですが、私はこういうところでベトナムの味を体験してほしいと思います。

同行した友人の感想

タオさんの地元ニャチャンでは、多くの親戚の方に温かく迎えてもらいました。会うたびに、ベトナム語のわからない私に話しかけてくれたり、ベトナムの伝統的な服であるアウヤーを着せてくれたり、ベトナムならではのことがありと呼んでくれて、何より親戚みんなが楽しそうに過ごしている姿が温かくて素敵でした。短い間でしたが、ベトナムの人の優しさ温かさにたくさん触れることができ、幸せでした。またお世話になった方々にお会いできるのを楽しみにしています。(経営学科1年 豊田 真実子)



▲ベトナムの家族と (右から3番目がタオさん、2番目が同行した豊田さん)

自己紹介

私は2010年9月、奨学金をもらって来日しました。初めは日本語学校で日本語を勉強していました。その後、学習院大学の入学試験に合格し、2012年4月、経営学科に入学しました。大学では山岳部に所属しています。

日本はのんびりできる場所ではなく、自分から行動しなければならぬところがあります。なぜなら、生活のスピードが速い、圧力も大きいからです。日々の勉強やアルバイトで忙しかったり、山岳部の活動でも努力が求められていて、時間が経つのが早く感じますが、これからも頑張っていきたいと思っています!

平成26 (2014) 年度第1期協定留学プログラム 派遣学生の募集

協定留学プログラム派遣学生の募集を4月下旬頃から開始します。派遣先は、韓国・タイ・オーストラリア・ニュージーランドを予定しています。留学期間は平成26 (2014) 年4月～翌年3月です。募集要項は掲示・当センターホームページ・G-Portなどで公示する予定です。

なお、当センターにて、本プログラムにより派遣した先輩方の留学体験記を閲覧できますので、応募にあたってはそちらも参考にしてください。

【平成25 (2013) 年度第1期の協定留学プログラムによる派遣学生】

留学期間:平成25 (2013) 年4月～翌年3月

派遣先大学	派遣学生
ウェリントン・ヴィクトリア大学 (ニュージーランド)	英語英米文化学科3年 山崎 貴広

海外からの協定留学生のご紹介

平成25年度4月より学習院大学での留学を開始する、海外の協定校からの留学生をご紹介します。

協定校	氏名	学習院での所属	留学期間
大学間協定			
北京外国語大学 (中国)	曹 夢岩 (ソウ ムガン)	法学科	1年間
北京外国語大学 (中国)	劉 思敏 (リウ シピン)	政治学科	1年間
東国大学校 (韓国)	崔 イェダム (チェ イェダム)	経済学科	1年間
東国大学校 (韓国)	許 禎娟 (ホ ジョンヨン)	経営学科	1年間
東呉大学 (台湾)	薛 仁傑 (セツ ジンゲツ)	日本語日文学専攻	半年間
東呉大学 (台湾)	王 姿文 (オウ シブン)	日本語日文学専攻	半年間
チュロンコン大学 (タイ)	WIMONSARAWONG Apaporn (ウィモンサラワン アパーン)	日本語日文学専攻	1年間
ポロニヤ大学 (イタリア)	AMADIO Valentina (アマディオ ヴァレンティーナ)	日本語日文学専攻	半年間
学部間協定			
明知大学校 (韓国)	朱 宣映 (チュンニョン)	アーカイブズ専攻	1年間

海外留学のための奨学金について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験してもらうことを目的として、「学習院大学海外留学奨学金・奨励金」という制度を設けています。

●学習院大学海外留学奨学金

応募条件:「留学願」が承認されている者又は承認されることが見込まれる者

金額:1名につき50万円以内(給付)

募集人数:年20名程度(平成24年度採用実績22名)

募集時期:年2回(12・6月)

●学習院大学海外留学奨励金

給付条件:「海外留学奨学金」受給者のうち、特に優秀な者

金額:1名につき10万円以内(給付)

採用人数:年10名程度(平成24年度採用実績7名)

平成25年度に留学を開始する皆さんを対象とした第二回目の募集(上記「募集時期」6月の回)については、募集要項を5月中旬に掲示・当センターホームページ・G-Portなどで公示する予定です(平成25年度第一回目の募集は終了しました)。

今年の12月頃には、平成26年度留学生向けの第一回目(上記「募集時期」12月の回)の募集を開始する予定です。

このほか、留学関係の奨学金等については、以下のようなものがあります。

●学習院大学海外短期語学研修奨学金

応募条件:夏季休業中、3週間以上の語学研修に参加した者

金額:10万円以内

募集人数:100名程度(平成24年度採用実績:151名)

募集時期:10月上旬予定

選考方法:書類審査

●学習院大学海外ボランティア活動奨励金

応募条件:夏季休業中、海外においてNGO、NPO等の団体でボランティア活動を行なった者

金額:10万円以内

募集人数:10名程度(平成24年度採用実績:6名)

募集時期:9月下旬予定

選考方法:書類審査及びプレゼンテーション

●大学院学生国外研究発表援助

応募条件:国外における研究集会で、発表を行なう大学院生(共同研究を含む)

金額:10万円以内

募集人数:20名程度(平成24年度採用実績:12名)

募集時期:12月上旬予定

*募集内容や応募条件等詳細については、当センターホームページなどで確認して下さい。

留学中の学費について

平成25年度より、「留学(協定外)」「休学」期間中に本学に納入する学費等の納付額が変更されました。

学籍上の区分	学費等の納入額	備考
留学(協定留学)	授業料等の半額	平成26年度以降変更予定*
留学(協定外留学)	在籍料相当額(60,000円)	
休学	在籍料相当額(60,000円)	

*詳しくは、「留学の手引き2013」を参照

- ・休学の場合は理由を問わず、納入額は在籍料相当額となります。
- ・協定留学プログラムによる留学の場合は、ほとんどの派遣先で授業料が免除されます。

留学クラブ、留学フェアのお知らせ

当センターでは、留学したい人、留学する人、留学した人が自由に交流できる場として「留学クラブ」、「留学フェア」を定期的に開催しています。

次回の開催については、詳細が決まり次第、当センターホームページやG-Port、掲示などでお知らせしますので、留学に興味のある方は是非お越し下さい!



Newsletter vol.31

発行日/2013年4月1日

編集・発行/学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/

(「学習院 CIE」などで検索してもヒットします)

*表紙の写真/馬 吳穎(人文科学研究科日本語日文学専攻博士後期課程2年)

*今号掲載の学生の所属年次などは、平成24年度当時のものです。

編集後記

今号では、これから留学する/留学した日本人学生、現在日本に留学中の協定留学生/私費留学生の、計5名の方に執筆をお願いしました。国籍も学部もバックグラウンドも異なる学生たちですが、同じ「留学」という共通点から、こうして私達も繋がりが持つことができました。普段何気なく彼らと接していますが、改めて考えてみると、とても貴重な環境だということに気づきます。4月は、日本では始まりと出会いの季節です。「留学」、「海外」、「交流」など、少しでも興味のある方は、国際交流センターに足を運んでみて下さい。皆さんにも、新たな出会いや繋がりが生まれるかもしれません!

平成25年度 国際交流センター運営委員

所長

水野 謙 (法学部)

運営委員

森田 朗 (法学部)

細野 薫 (経済学部)

金田 智子 (文学部)

馬淵 一誠 (理学部)

高橋 利宏 (副学長)

桂木 隆夫 (学生センター所長)

宮澤 文玄 (国際交流センター課長)